

微生物農薬によるタラノキのセンノカミキリ防除

福島県農業総合センター 生産環境部作物保護科

1 部門名

野菜 - タラノキ - 病害虫防除

2 担当者

荒川昭弘・中村 淳

3 要旨

タラノキの害虫であるセンノカミキリの微生物防除を目的として、昆虫病原性線虫製剤の防除効果を検討した。

- (1) 昆虫病原性線虫製剤(商品名バイオセーフ)をセンノカミキリ幼虫による被害部に散布すると、幼虫へ線虫が感染し、防除することができた。
- (2) 散布時期は、幼虫の発生時期であり、線虫の効果を考慮して、5月下旬～6月中旬、9月下旬頃である。
- (3) 処理量が多いほど防除効果が高かったことから、被害株のみを防除対象とし、被害部に集中して散布するのが効果的と考えられる。
- (4) 本剤は乾燥に弱く、15～30℃の範囲内で線虫が防除効果を発揮するので、散布時の気象条件に留意する。
- (5) 本試験結果等により、2008年7月9日に農薬登録された。
- (6) 農薬登録上の具体的な使用方法は、製剤約10g(線虫2,500万頭)を2.5リットルの水に希釈し(1千万頭/リットル)、幼虫発生期に被害部を中心に薬液が滴るまで散布する。成木1樹あたり100～500mlを目安とする。

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成18、19年度福島県農業総合センター試験成績概要(2007、2008)